

NYマーケットレポート (2015年9月9日)

NY市場では、東京や欧州市場で株価が上昇したことを受けて、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。また、米株価も大きく上昇して始まったことや、米 JOLT 労働調査[求人件数]が、件数ベースで過去最高を記録し、増加幅では2010年4月以来で最大となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。ただ、来週の FOMC の結果を見極めたいとの慎重な見方もあり、ドルはやや上値の重い動きとなった。そして、それまで堅調な動きだった株価がマイナス圏まで下落、さらに引けにかけて下げ幅を拡大する動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きも強まり、安全資産とされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な展開が続いた。

2015/9/9 (水)

| TOKYO | 東京終値 | 東京高値 | 東京安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.69 | 120.74 | 119.82 |
| EUR/JPY | 134.91 | 135.02 | 134.21 |
| GBP/JPY | 185.66 | 185.87 | 184.45 |
| AUD/JPY | 85.00 | 85.12 | 84.06 |
| EUR/USD | 1.1178 | 1.1217 | 1.1147 |

| LONDON | LD高値 | LD安値 |
|---------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.96 | 120.37 |
| EUR/JPY | 135.03 | 134.29 |
| GBP/JPY | 185.80 | 184.81 |
| AUD/JPY | 85.12 | 84.66 |
| EUR/USD | 1.1208 | 1.1136 |

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

| アジア主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|----------|
| 日経平均 | 18770.51 | +1343.43 |
| ハンセン指数 | 22131.31 | +872.27 |
| 上海総合 | 3243.09 | +72.64 |
| 韓国総合指数 | 1934.20 | +55.52 |
| 豪ASX200 | 5221.13 | +105.88 |
| インドSENSEX指数 | 25719.58 | +401.71 |
| シンガポールST指数 | 2928.18 | +42.86 |

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-------------|----------|---------|
| 英FT100 | 6229.01 | +82.91 |
| 仏CAC40 | 4664.59 | +66.33 |
| 独DAX | 10303.12 | +31.76 |
| ST欧州600 | 363.77 | +4.77 |
| 西IBX35指数 | 10037.80 | +171.60 |
| 伊FTSE MIB指数 | 22126.57 | +185.26 |
| 南ア 全株指数 | 49723.55 | +150.06 |

| NEW YORK | NY終値 | NY高値 | NY安値 |
|----------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.49 | 121.20 | 120.43 |
| EUR/JPY | 134.98 | 135.19 | 134.61 |
| GBP/JPY | 185.19 | 186.44 | 185.06 |
| AUD/JPY | 84.48 | 85.49 | 84.37 |
| NZD/JPY | 76.89 | 77.82 | 76.86 |
| EUR/USD | 1.1203 | 1.1209 | 1.1132 |
| AUD/USD | 0.7011 | 0.7059 | 0.7005 |

| 米主要株価 | 終値 | 前日比 |
|-----------|----------|---------|
| 米ダウ平均 | 16253.57 | -239.11 |
| S&P500 | 1942.04 | -27.37 |
| NASDAQ | 4756.53 | -55.40 |
| その他主要株 | 終値 | 前日比 |
| 🇨🇦 トロント総合 | 13531.85 | -98.82 |
| 🇧🇷 ボルサ指数 | 42754.68 | -329.26 |
| 🇲🇽 ボベスパ指数 | 46657.10 | -104.97 |

9/10 経済指標スケジュール

| | |
|-------|--------------------------|
| 08:50 | 【日】7月機械受注 |
| 08:50 | 【日】8月国内企業物価指数 |
| 10:00 | 【豪】9月消費者インフレ期待 |
| 10:30 | 【豪】8月失業率・8月雇用者数 |
| 10:30 | 【中】8月消費者物価指数・8月生産者物価指数 |
| 15:45 | 【仏】7月製造業生産指数 |
| 15:45 | 【仏】7月鉱工業生産 |
| 16:00 | 【トルコ】7月経常収支 |
| 16:00 | 【トルコ】2Q GDP |
| 16:30 | 【スウェーデン】8月消費者物価指数 |
| 17:00 | 【ノルウェー】8月生産者物価指数・消費者物価指数 |
| 17:30 | 【英】9月英中銀議事録 |
| 20:00 | 【英】政策金利発表 |
| 20:00 | 【南ア】7月製造業生産 |
| 21:30 | 【米】新規失業保険申請件数 |
| 21:30 | 【米】失業保険継続受給者数 |
| 21:30 | 【米】8月輸入物価指数 |
| 21:30 | 【カナダ】7月新築住宅価格指数 |
| 21:30 | 【カナダ】2Q設備稼働率 |
| 23:00 | 【米】7月卸売在庫 |
| 23:00 | 【米】7月卸売売上高 |

| コモディティ | 終値 | 前日比 |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1102.00 | -19.00 |
| NY 原油 | 44.15 | -1.79 |
| CME コーン | 369.00 | +0.75 |
| CBOT 大豆 | 872.25 | -7.00 |

| 米国債利回り | 本日 | 前日 |
|--------|-------|-------|
| 2年債 | 0.74% | 0.74% |
| 3年債 | 1.06% | 1.04% |
| 5年債 | 1.52% | 1.52% |
| 7年債 | 1.90% | 1.91% |
| 10年債 | 2.19% | 2.20% |
| 30年債 | 2.95% | 2.97% |

9/10 主要会議・講演・その他予定

- ・米30年債入札
- ・世界経済フォーラム(～11日)

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 120.94 ユーロ/円 134.70 ユーロ/ドル 1.1138

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

| 欧州主要株価 | 株価 | 前日比 | 米株価先物 | 株価 | 前日比 |
|---------|----------|---------|------------------|---------|--------|
| 英 FT100 | 6273.59 | +127.49 | ダウ 先物ミニ | 16640 | +188 |
| 仏 CAC40 | 4721.30 | +123.04 | S&P 500 ミニ | 1986.00 | +20.25 |
| 独 DAX | 10459.07 | +187.71 | NASDAQ 100 ミニ | 4349.50 | +51.00 |

(出所: SBILM)

21:13

◀ 経済指標の結果 ▶

8月カナダ住宅着工件数 21.69万件 (予想 19.05万件・前回 19.33万件)
 前回発表の 19.30万件から 19.33万件に修正

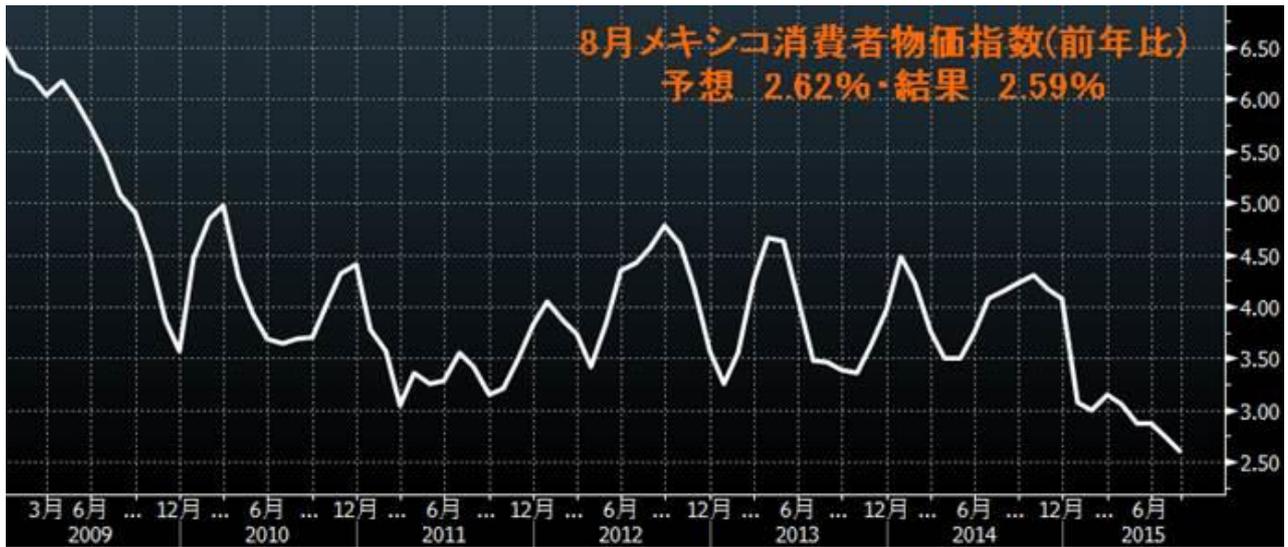


(出所: ブルームバーグ)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

7月カナダ住宅建設許可 (前月比) -0.6% (予想 -5.0%・前回 15.5%)
 前回発表の 14.8%から 15.5%に修正



(出所：ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

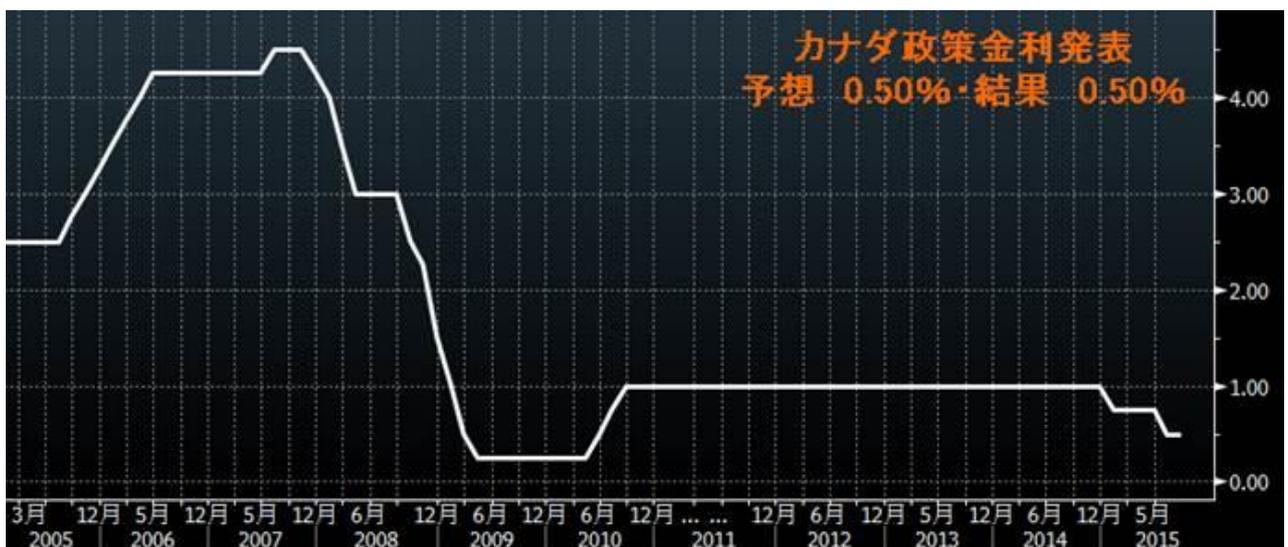
| 米主要株 | 株価 | 前日比 |
|-------|----------|---------|
| ダウ平均 | 16643.33 | +150.65 |
| ナスダック | 4857.12 | +45.19 |

(出所：SBILM)

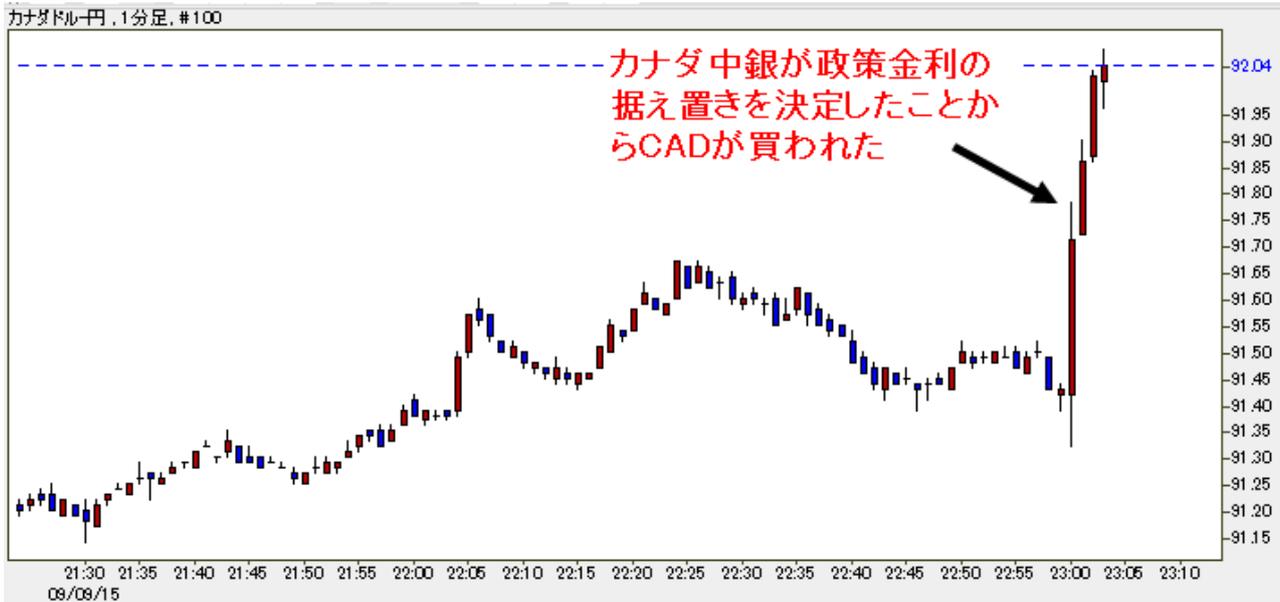
23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)



(出所：ブルームバーグ)



23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

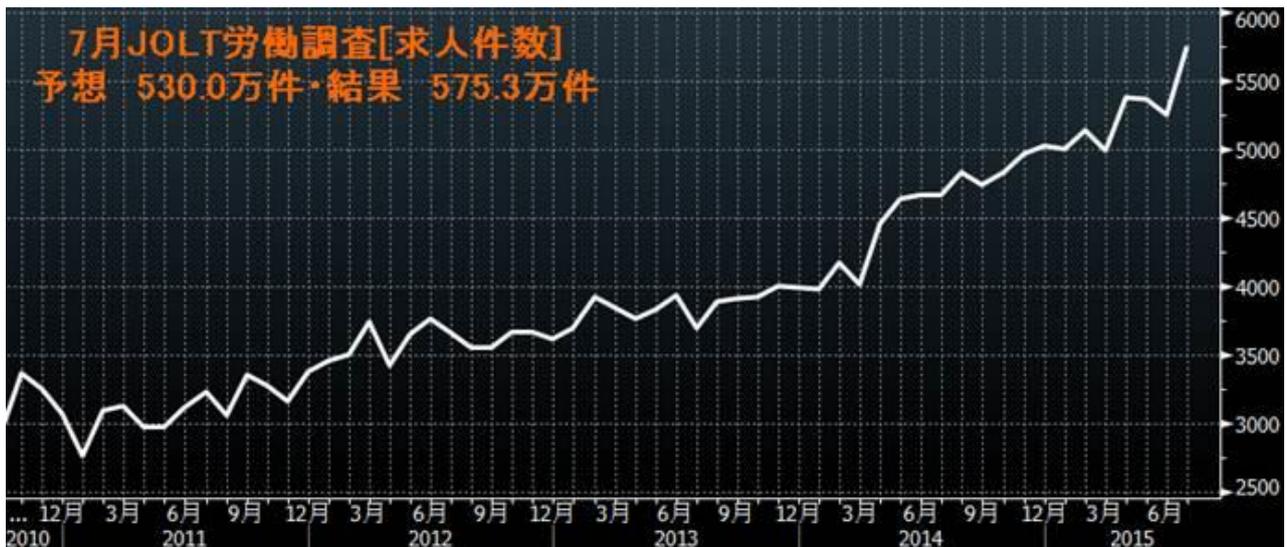
8月英 NIESR GDP 予想 0.6% (前回 0.6%)
 前回発表の 0.7% から 0.6% に修正



23 : 02

◀ 経済指標の結果 ▶

7月 JOLT 労働調査[求人件数] 575.3 万件 (予想 530.0 万件・前回 532.3 万件)
 前回発表の 524.9 万件 から 532.3 万件 に修正



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《JOLT 労働調査》

7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月・・・2月・・・1月
 求人件数・・・575.3・・・532.3・・・535.7・・・533.4・・・510.9・・・514.4・・・496.5

【JOLT 労働調査】

JOLTS 労働調査（求人件数）は、米労働統計局が求人状況を測定するために実施する調査で、小売業や製造業など各業種の雇用データをもとに算出する統計。

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、アジアや欧州の株式相場が軒並み上昇していることを好感した買いが先行した。また、中国政府が景気刺激のための財政出動を行うとの観測も株価を下支えしている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 171 ドル高まで上昇したものの、その後は上げ幅を縮小する動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 7月の米求人件数は、前月比+43 万件的の 575 万件と件数ベースでは過去最高を記録し、増加幅は 2010 年 4 月以来で最大となった。項目別では、小売りや工場、レストラン、プロフェッショナルサービスで求人が増えた。一方、7月の自発的離職者は約 270 万人で、前月の 274 万人から減少。離職率は 1.9%で前月と同水準だった。新たに雇用された労働者も 498 万人に減少し、全雇用者に占める新規雇用者の比率は 3.5%に低下した（前月 3.7%）。解雇者は 161 万人と、前月の 178 万人を下回った。

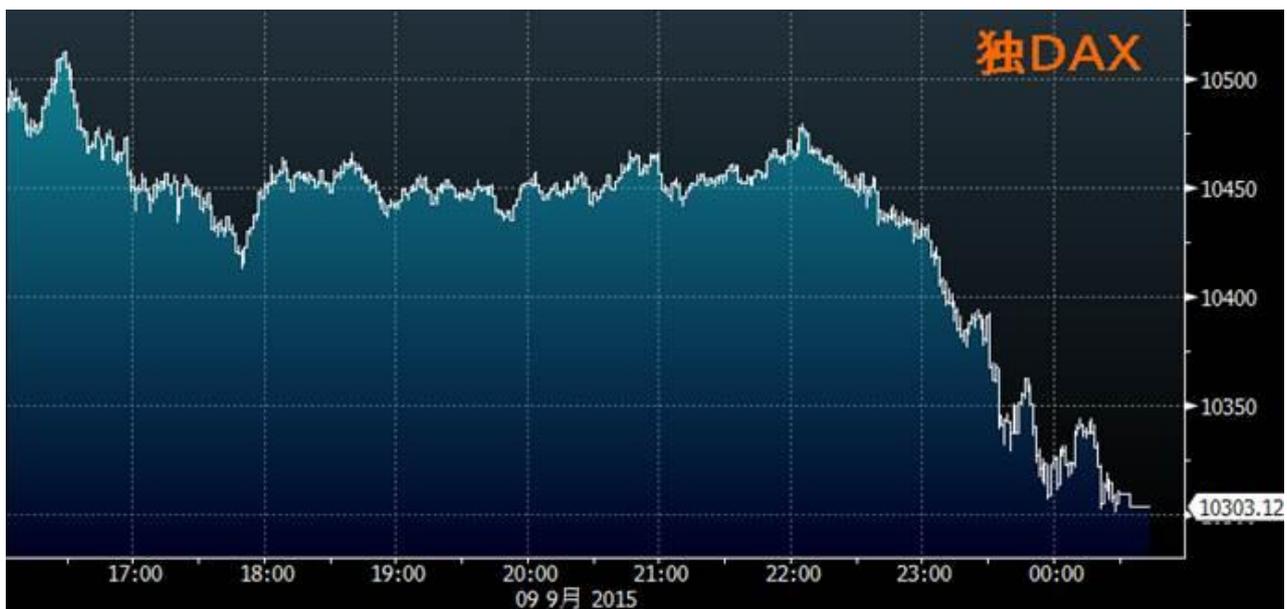
(2) カナダ中銀は、市場の予想通り政策金利を 0.50%に据え置いた。過去 2 度の利下げが経済を引き続き支援しているとした。中銀は国内資源部門について、原油など商品価格の下落に伴う調整が続き、相当の時間がかかるとの認識を示した。ただ、カナダドル安が、商品価格下落の影響を一部吸収していると指摘。カナダ中銀は 1 月と 7 月に利下げを実施。「これまでの金融政策措置の刺激効果が、カナダ経済に徐々に浸透しつつある」との認識を示した。7月に示した経済成長動向は引き続き変わらないと指摘。中銀は「こうした進展をすべて考慮に入れると、現在の金融政策スタンスが適切となる範囲内に、インフレ見通しへのリスクがとどまり続けていると判断する」と説明した。

| 欧州主要株価 | 終値 | 前日比 |
|------------------|----------|---------|
| 英 FT100 | 6229.01 | +82.91 |
| 仏 CAC40 | 4664.59 | +66.33 |
| 独 DAX | 10303.12 | +31.76 |
| ストック欧州 600 指数 | 363.77 | +4.77 |
| ユーロファースト 300 指数 | 1435.54 | +19.96 |
| スペイン IBEX35 指数 | 10037.80 | +171.60 |
| イタリア FTSE MIB 指数 | 22126.57 | +185.26 |
| 南ア アフリカ全株指数 | 49723.55 | +150.06 |

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国が景気刺激策を実施するとの期待感を背景に、アジアの株高を好感して買いが先行した。ただ、夕方にかけては株価上昇に一服感が出て、主要株価は上値が重い展開となった。



(出所: ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 16504.68 (+12.00)、S&P500 1972.22 (+2.81) ナスダック 4811.68 (-0.25)

《ポイント》

OECD（経済協力開発機構）が発表した7月の景気先行指数（CLI）では、中国が勢いを失ったほか、ブラジルやロシアも低迷状況を示した。米国は99.5、英国は99.7、カナダは99.4となり、それぞれ前月から0.1ポイント低下した。ユーロ圏は100.0で100.1から低下。日本は100で変わらず。ドイツとイタリアの成長勢いは安定している一方、フランスは100.7で変わらずだが「底堅い成長」としている。

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、米 10 年物国債入札を前に、ポジション調整の売りが先行した。また、中国経済への懸念後退でアジアや欧米の株価が軒並み上昇したため、安全資産としての需要も弱まった。

午前の利回りは、30 年債が 3.00%（前日 2.96%）、10 年債が 2.23%（2.19%）、7 年債が 1.95%（1.91%）、5 年債が 1.56%（1.52%）、3 年債が 1.08%（1.03%）、2 年債が 0.76%（0.74%）。

2 : 00

◀米財務省 10 債入札▶

最高落札利回り・・・2.235%（前回 2.115%）
 最低落札利回り・・・2.100%（前回 1.950%）
 最高利回り落札比率・・・68.42%（前回 38.64%）
 応札倍率・・・2.70 倍（前回 2.40 倍）

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 19.00 ドル安の 1 オンス=1102.00 ドルで取引を終了した。

4 : 30

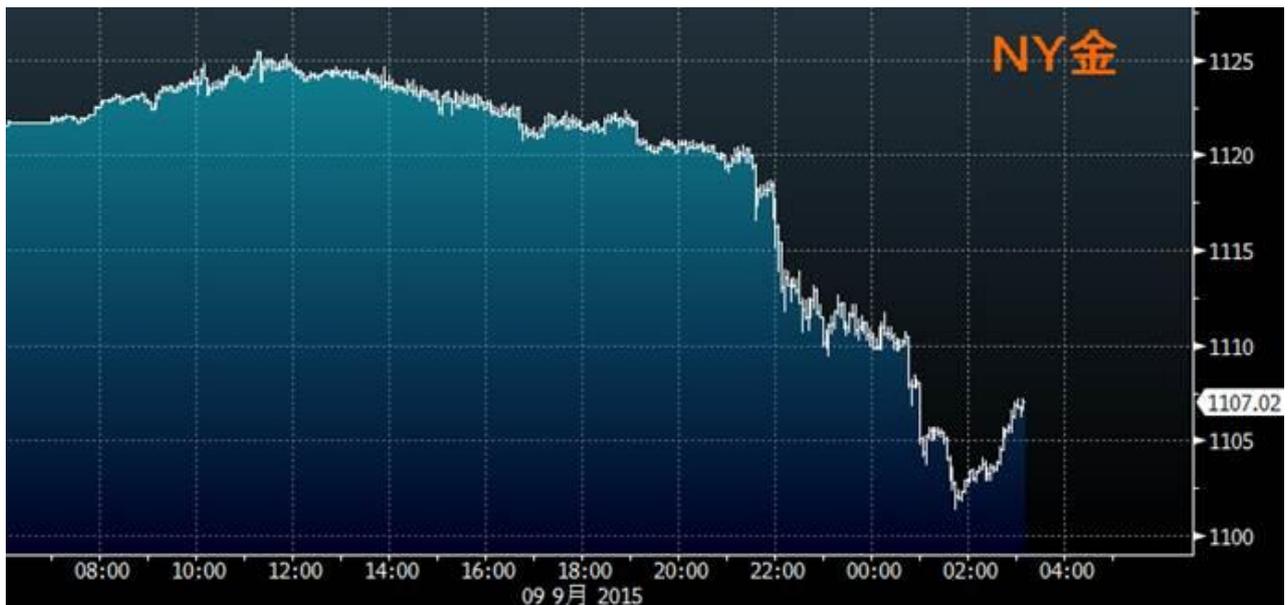
NY 原油は、中心限月が前日比 1.79 ドル安の 1 バレル=44.15 ドルで取引を終了した。

| 主要商品 | 終 値 | 前日比 |
|---------|---------|--------|
| NY GOLD | 1102.00 | -19.00 |
| NY 原油 | 44.15 | -1.79 |

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

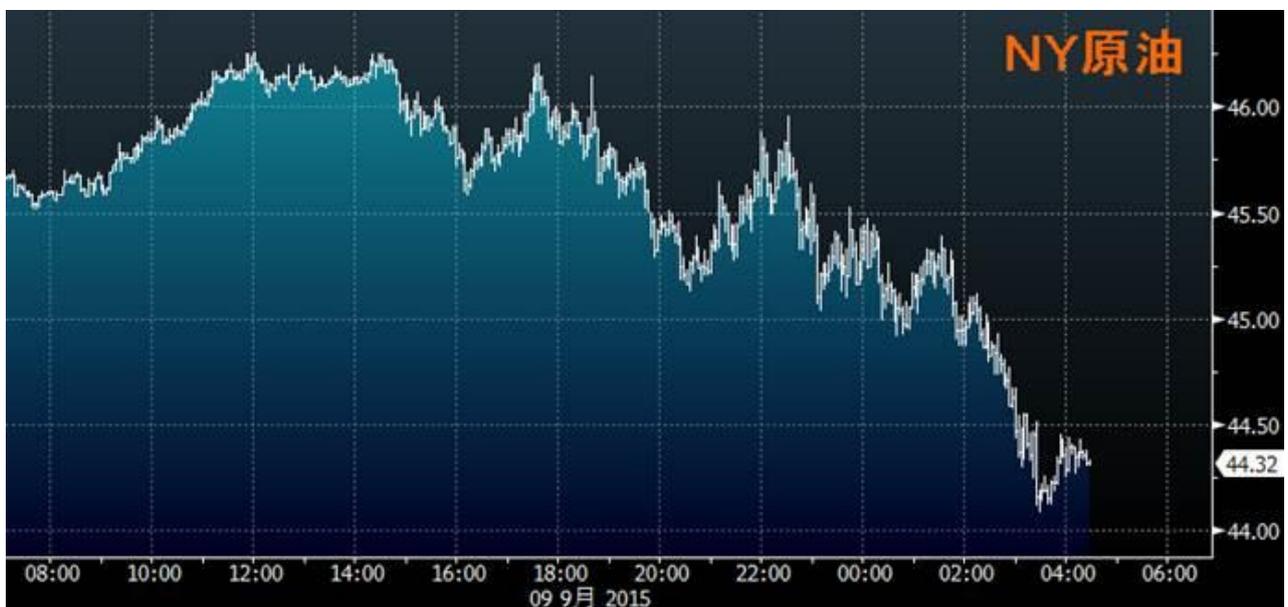
NY 金は、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが先行した。また、アジアや欧州の主要市場で株価が値上がりしたことから、比較的安全な資産としての需要も後退した。終値ベースでは、8 月上旬以来約 1 ヶ月ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、世界的な供給過剰感や、中国景気の減速に伴う原油需要の減少懸念を背景とした売りが優勢となった。また、米国株が下落に転じたのにつれて売りが加速し、一段安となった。終値ベースでは、約2週間ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

6:00

◀ 経済指標の結果 ▶

ニュージーランド政策金利発表 2.75% (予想 2.75%・前回 3.00%)

6:00
NZ 中銀

- ・「政策金利を 2.75%に引き下げ（従来 3.00%）」
- ・「若干の追加利下げの可能性は強そうだ」
- ・「NZ ドルの一段の下落が適切」
- ・「追加利下げはデータ次第」

| 主要株価 | 終値 | 前日比 | 高値 | 安値 |
|----------|----------|---------|----------|----------|
| ダウ平均株価 | 16253.57 | -239.11 | 16664.65 | 16220.10 |
| S&P500 種 | 1942.04 | -27.37 | 1988.63 | 1937.88 |
| ナスダック | 4756.53 | -55.40 | 4862.88 | 4746.73 |

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、アジアや欧州の主要株価が軒並み上昇したことを受けて、堅調な展開で始まった。また、中国政府が景気刺激のための財政出動を行うとの観測も下支え要因となった。しかし、午後に入ると上げ幅を帳消しにし、主要株価はマイナス圏まで下落する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 171 ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後はマイナス圏まで下落し、272 ドル安まで下げる場面もあった。



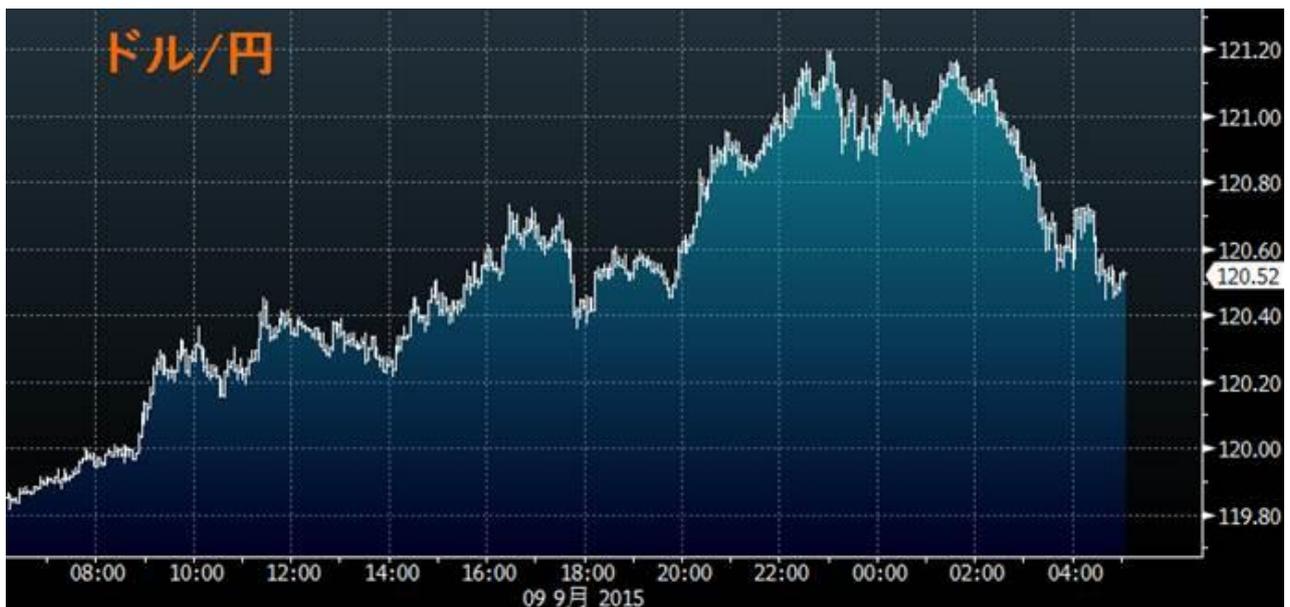
(出所: ブルームバーグ)

| 主要通貨 | NY 終値 | NY 高値 | NY 安値 |
|---------|--------|--------|--------|
| USD/JPY | 120.49 | 121.20 | 120.43 |
| EUR/JPY | 134.98 | 135.19 | 134.61 |
| GBP/JPY | 185.19 | 186.44 | 185.06 |
| AUD/JPY | 84.48 | 85.49 | 84.37 |
| NZD/JPY | 76.89 | 77.82 | 76.86 |
| EUR/USD | 1.1203 | 1.1209 | 1.1132 |
| AUD/USD | 0.7011 | 0.7059 | 0.7005 |

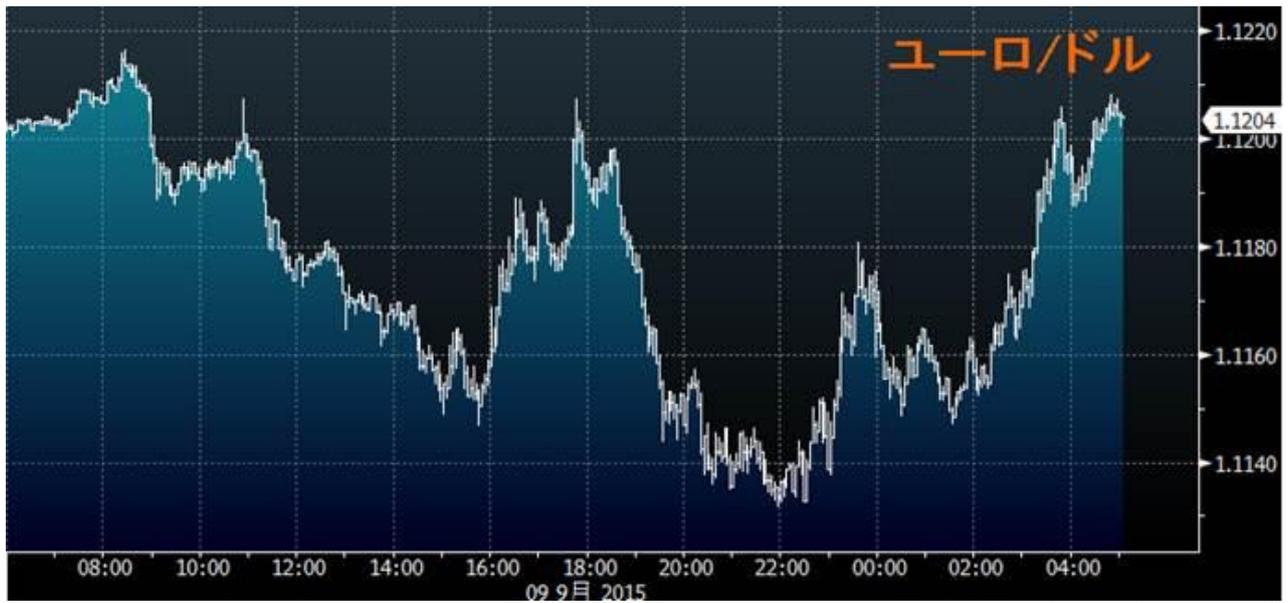
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が大きく上昇したことを受けて、リスク志向の動きが強まり、円を売る動きが優勢となった。そのため、序盤からドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後堅調だった株価がマイナス圏まで下落、終盤には下げ幅を拡大したことから、円を買い戻す動きが優勢となった。



(出所: ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。